



赤小だより

# かやの木

平成27年6月8日  
第3号  
佐渡市立赤泊小学校

## 140年の歴史を見つめて

校長 古塩 正明

先日5月23日、創立140周年記念運動会が盛大に執り行われました。ご参加いただきました保護者の皆様や地域の皆様に深く感謝申し上げます。

赤泊小学校が産声をあげて140年。さまざまな時代を地域とともに歩んできたこの学校の今昔が100周年記念誌「赤小の百年」を見るとよく分かります。

明治9年、赤泊小学校がお寺を校舎にして始まり、当時は教科書やノートではなく、石盤や石筆で字や絵をかいていました。子どもたちもみんな着物を着て兵児帯で登校していました。体育の授業ももちろん着物です。

女子は赤ちゃんをおんぶして子守をしながらの通学する子もいました。赤ちゃんが泣くと廊下に出されたり、言うことを聞かない子どもは容赦なく廊下に出され立たされたりしたことも作文に書いてあります。

遠足では、朝早く出発して夕方まで歩きっぱなしの遠足でしたが、それでもみんな楽しんでいる様子がよく分かります。

昭和初期、列強国に追いつけ追い越せの時代。本校も国民学校となって戦争に向かって突き進みました。教育課程もがらっと変わってしまいました。英語などはもってのほかで、教育勅語を毎日復唱しなければいけませんでした。音楽の授業の歌は軍歌になり、女子は竹槍の練習までありました。

そして戦後を迎え、今では民主主義を基盤にした多様な価値観が混在した学校教育が進められています。立派な校舎に豊富な学用品、パソコン等、子どもを取り巻く教育環境はめざましくよくなりました。

このように学校の歴史を見ていきますと、その時代時代によって子どもたちの教育環境や将来への期待は今と変わらぬものもあれば、明らかに変わってしまったものがあります。時代と共に教育的価値観が変化していきました。

しかし、学校教育の原点を考えたとき、変えていけないものは何か？ 変えなければいけないものは何か？人間づくりを目的とする学校ではその「不易と流行」ということを十分に考えながら教育活動を進めていく必要があります。

学習用品や着る物がなかった時代の学校でも、最先端の技術が揃った現在の学校でも、友達と一緒に勉強や遊びをすることが楽しくて学校へ行きたい。そんな気持ちで子どもたちが学校に来てほしいという私たちの願いは昔も今も変わりません。

140年目を迎えた赤泊小学校も、これからどんな時代になろうとも、子どもたちに一人一人が輝く、魅力ある最高の学校にしなければなりません。

カヤの木の寿命は長く1,000年以上とも言われています。140歳になった赤泊小学校もこのカヤの木に比べればまだまだ子どもです。そのカヤの木のように、どんな時代でも、どんなに周りが変わろうとも、しっかりと根を下ろし、葉が空を目指していくような学校にしていきたいと考えます。

# 青少年赤十字登録式

新潟県青少年赤十字指導員の松井夫佐子先生からお話をいただきました。

JRC 委員会が青少年赤十字の精神や活動について説明してくれました。



青少年赤十字の「誓い」を全校で大きな声でコールしました。



# 140周年記念大運動会

5月23日(土)。すばらしい天候の中、赤泊小学校140周年記念大運動会を行いました。大勢の皆様から応援、ご参加いただきまして盛会に終えることができました。大変ありがとうございました。



赤白応援団長の気合いの入った選手宣誓でした。



応援合戦。今年の応援優勝は白組でした。



全校佐渡おけさ。今年も富永珠江様から踊りを教えていただきました。



140周年記念種目で5・6年生が組体操を披露しました。



最後の種目、上学年リレー。盛り上がりました。

# 各学年児童運動会の感想

## 1 学年 代表

わたしが うんどうかいで たのしかったことは、たまいれです。2かいやりました。こどもだけのたまいれるときも、おうちのひとだけのたまいれるときも、どっちもいっしょうけんめいできました。おうちのひとのたまいれは、かごがたかくてびっくりしました。かごにたまをいれるのが たいへんそうだったので、がんばってはやく、たくさんたまをひろって、おとうさんにとどけました。けっかは、あかが2かいともかちました。わたしは しろぐみだったので まけてしまったけれど、とてもたのしかったです。らいねんのうんどうかいも たのしみです。

## 2 学年 代表

うんどう会でうれしかったことがありました。リレーで一ばんにバトンをわたせたことです。ぼくは、一いでバトンをみつきさんからもらいました。はしっていると、まどかさんがうしろからおいかけてきてぬかされそうでした。でも、せいっぱいがんばったら、そのままゆうきさんに一ばんでわたせました。50メートルそうでは、一いをとれなかったけれど、リレーでは一いでバトンをわたせたので、さいこうにうれしかったです。

## 3 学年 代表

まちにまったうん動会がありました。学校に行くとき、わくわくドキドキしました。グラウンドの方を見ると、入場門が出来上がっていてうれしくなりました。教室に入りじゅんびをし、みんなで「エイエイオー。」と言って気合いを入れました。おうえんのとき、れん習でやったふりつけを思い出して、大きな声でおうえんしました。80m走では、さい後でぬかれて二いだったけれど、はやく走れてうれしかったです。親子きょうぎでは、お父さんと大玉を落とさないようにはこびました。さい後のリレーは本気で走りまわりました。楽しいうん動会でした。

## 4 学年 代表

運動会でがんばったことは、80メートル走と上学年リレーです。わけは80メートル走はがんばって走ったからです。1番の赤いリボンがもらえてよかったです。上学年リレーはバトンをもらうときを気をつけました。わけはバトンをもらうときがむずかしいからです。さいしょはむずかしいと思ったけれど、練習をしていたらうまくなれました。運動会はすごくつかれたけれど、きょうぎで勝って良かったです。

## 5 学年 代表

ぼくが運動会で印象に残ったことは、2つあります。1つ目は、開会式です。なぜかと言うと、ぼくが国旗掲揚の係だからです。難しかったところは、上げると下げるのちがいがわからないことです。押すと上がるのか、引くと上がるにかかわらななので、上がったり下がったりしていました。2つ目は、上学年リレーです。ぼくは最後から2番目でした。いっしょに走るのは、3人の友達でした。前の人のが速かったので、特に激しく競うこともなかったです。最後に今年の運動会の感想は、とても楽しく最後までどちらが勝ったか分からない運動会でした。

## 6 学年 代表

6年生にとって最後の運動会。私は、心に残ったことが二つありました。一つ目は、組体操です。私は、組体操をやったことも、見たこともありませんでした。だから、最初は不安で、大丈夫かなあと思うことがたくさんありました。中でも、友達が土台になり、私が上に乗る技は、こわいし、友達のことは心配だし、練習の時から大変でした。でも、下になってくれている友達が支えてくれたので、日に日に安定してできました。二つ目は、得点発表です。とても緊張しました。私は白組だったので、結果が書かれている紙を見た時、「負けた！」と思い、悔しかったです。でも応援賞は取りました。私は、心を落ち着けて、大きな声でゆっくりと話しました。